

平成 29 年度に事後評価を行った評価結果（概要）について

1. 計画の指標の達成状況は次のとおりとなっている。

評価対象計画数	計画に掲げる指標をすべて達成した計画数	指標の達成が 100% 未満のものがあった計画数
2	1	1

2. 計画に掲げる指標をすべて達成した地区の、本計画に取り組んだ効果として、次のような実績があった。

(1) 農村の振興

- ・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

- ・該当なし。

(3) 農業生産基盤の整備

- ・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

- ・新技術の導入により地域資源を活かした農山漁村の振興を図るため、地域産物の販売額増を目指し、安定的に原材料を確保するため、漁業者、養殖業者への取組強化や、大手通販や百貨店等との取引拡大、新商品の開発、観光連携による地元での販売体制の構築などに取り組んできた結果、目標の達成が図られた。

3. 指標の達成が100%未満のものは次のとおりであった。

評価対象計画数	指標の達成が100%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が70%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が50%未満のものがあった計画数
1	1	1	0

4. 指標の達成が未達成となった主な要因としては、次のような事例があった。

(1) 農村の振興

- ・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

- ・都市との交流による農村の活性化を図るため、農家民宿及び宿泊施設の宿泊者数の増を目指しており、出雲歌舞伎や神楽の公演、須佐神社や八雲風穴など周辺観光施設と連携したツアーを行っている。ゴルフパックの連携やインターネット予約を強化したことにより前年並みの宿泊者数を確保したが、目標には達していない。今後も旅行会社等と連携し、新エネルギーと連動した旅行商品や、地域密着の観光商品の開発など宿泊者数の増加につながる取組を実施し、集客に努める。

また、地域産品の販売額増も目指しており、産直市については高齢化により産直会員の減少に歯止めがかからない状況ではあるが、即時納品体制の整備に努め、更に、地域会員の協力を得て、地元食材を使った総菜の販売など店舗運営の充実を図る取組を行っており、今後も、新規会員の確保に努めつつ、顧客のニーズに合った品目の開発や多品目販売の維持に取り組み、販売額の増を図っていく。

(3) 農業生産基盤の整備

- ・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

- ・該当なし。

5. 指標の達成が未達成となった計画については、今年度指標が未達成となった要因等を分析するとともに、「改善計画」を作成し、農政局の指導のもと、県・市町村が連携し、指標達成に向け取り組んでいる。